

# 中日指名の松山(八学) 仮契約 「絶対的な選手になりたい」

プロ野球ドラフト情報  
(金額は推定)  
プロ野球ドラフト会議

で、中日から育成1位指名を受けた八学大の松山晋也(22)が18日、八戸市内のホテルで球団との入団交渉に臨み、支度金、年俸共に300万円を仮契約を結んだ。松山は「『中日』といったら松山」と思われるような絶対的な選手になりたい」と抱負を語った。



入団が決まり、中日の八木智哉スカウト(左)と八学大の正村公弘監督(右)と共に、記念写真に納まる松山晋也(18日、八戸市)

松山は八木智哉スカウトら球団関係者と約1時間、非公開で交渉に臨んだ。交渉後の会見では、目標とする選手に大リーグのヤンキースなどで活躍した黒田博樹投手を挙げ、「熱いプレーでチームを盛り上げる」と意気込んだ。会見に同席した八学大硬式野球部の正村公弘監督は「一日でも長くプロ野球界に携われるような人間になつてもらいたい」と期待を込めた。松山は来月上旬の入団発表に合わせて本契約を結ぶ。来年1月上旬に入寮し、合同自主トレに参加する予定。(上村公徳)

作山和英アマスカウトチーフ補佐(左)から帽子をかぶせられ、笑顔を見せる佐藤航太(18日、八戸市)



## ソフトBあいさつ受け佐藤(光星) 「しっかり準備したい」

プロ野球ドラフト会議でソフトバンクから育成11位で指名を受けた八学光星高の佐藤航太(18)が18日、同校で球団からの指名あいさつを受けた。佐藤は「期待に応えられるようしっかり準備したい」と決意を口にした。

佐藤は東京都出身で、江戸川区立瑞江二中出。50分5秒9の俊足と長打力が武器で、今夏の甲子園2回戦でランニング本塁打を記録した。今月中に球団と仮契約で合意すれば、来月の入団発表などに臨む予定。18日は、ソフトバンクの

作山和英アマスカウトチーフ補佐が硬式野球部の仲井宗基監督らと懇談。作山氏は「ポテンシャルが高く、長打力のあるリードオフマンになってほしい。ウエー」と期待を寄せた。終始緊張した面持ちだった佐藤は、球団の王貞治会長と藤本博史監督のサインボールを贈られると笑顔をみせ、「いち早く支配下登録されるよう努力していく」と意欲を語った。(福田駿)